

彩の国

回復をけん引する「人・ヒト・ひと」

三芳合金工業

銅合金の溶解炉でベテランならではの指示を飛ばす三芳合金工業(三芳町)取締役の鶴田和郎さん(63・左奥)



首都圏の一角を占める埼玉県。新型コロナウイルス感染症による景気の落ち込みに対して回復を模索する段階に入った。しかし、奇をてらった施策が効くかと言うそうではない。製造業ならば、決められた品質・数量のものを、適切なコストで、決められた納期までに仕上げる通常の営みに、人々が戻れるかどうか問われる。回復とその後の成長は「人材力」にかかっている。



新富士空調

CAD課で活躍中の竹内結希さん(25・右)、大野悠夏さん(24)。新富士空調(鴻巣市)は新国立競技場をはじめ羽田空港など多くのダクト工事の実績がある



錫光

錫をろくろに固定し、かんなで削るろくろ挽きの錫製品をつくる錫光(川口市)代表の中村圭一さん(58)



イノウエ

木型の仕上げ工程を行うイノウエ(川口市)の丸水誠さん(67)



日さく

日さく東日本支社地質調査部の朝倉良恵さん(24・右)と小山祥代さん(29)。地中レーダー探査機で埋設物を調査中



ネツシン

顕微鏡を使い、肉眼では見えない穴に超極細のコイル線を通していくネツシン(三芳町)エレメント部チーフの大村清美さん